

Eagle Eye Cloud VMSを導入した ドミノピザ店舗



米国アーカンソン州に22店舗を展開するドミノピザのフランチャイズ・オーナーは、アナログ型映像監視カメラ・システムを使用していました。同オーナーによると、このアナログ型映像監視カメラ・システム使用時、事件発生時の録画映像を抽出するまでに早くても数日間、時には数週間かかっていた。

それに対して、Eagle Eye Cloud VMSを導入してからは、既存のアナログ・カメラを継続使用、複数店舗の映像も一括管理できるプラットフォームと、いつでも設定変更可能なクラウド・ストレージを利用できるようになりました。今回導入したイーグルアイ社製クラウド型映像監視システムでは、既存のアナログ・カメラを継続して使用できたことに加えて、店舗ごとに1台ずつ新しいIPネットワーク・カメラを追加しました。

Eagle Eye Cloud VMSを導入したことで、イベント発生時にスタッフ内で履歴やライブ映像を確認でき、特定時間に特定のカメラで、特定の人物情報を共有し、簡単にインシデントの録画映像を取得できるようになりました。当初フランチャイズ・オーナーは、1店舗だけで導入しEagle Eye Cloud VMSを2ヶ月間使用した後に、その優れた高性能に満足して22店舗全てに導入を決定しました。



【導入の詳細】

■導入製品

●Eagle Eye Bridge

Eagle Eye Bridgeは、オンサイト環境に設置して映像データをバッファする機能を持ち、映像データを送信可能な帯域を確保すると、Eagle Eye Cloudにデータを送信します。カメラから転送された映像は、動体検知と暗号化処理が行われ、ローカル・ハードディスクに保存されます。そして、帯域幅、ユーザ定義、スケジュールなど様々な設定に基づいて、クラウドにデータが送られます。イーグルアイネットワークスは、6台から32台までカメラをサポートするBridge製品群を提供しています。

●Compact IP CMVR Eagle Eye CMVR224

Eagle Eye CMVRには、オンプレミスとクラウドの両方に記録領域があります。ユーザは、カメラ毎に保存先を任意に組み合わせることが可能です。Bridgeと同様に、Eagle Eye CMVRは自動的にカメラとシステム・ステータス情報をEagle Eye Cloudに送信します。CMVRは、全録画の記録をクラウドへ送信するために十分な帯域を確保できない場合、またはオンプレミスの記録領域にポリシーや規制がある場合に利用されます。イーグルアイネットワークスでは、6台から180台のカメラをサポートするCMVR製品群を提供しています。



●Combo IP/Analog Bridge Eagle Eye Bridge 310

ラックマウント型に設計されたBridgeで、アナログ・カメラとIPカメラをサポートしています。アナログカメラはBridgeに直接接続するため、外部エンコーダは不要です。このBridgeはアナログからIPへ移行するユーザに最適で、必要に応じてカメラを選択することができます。



■設置店舗数・当初1店舗に導入し、その後全22店舗に導入

■カメラの種類と台数・アナログ・カメラとIPカメラ5台/1店舗、全店舗で110台

■画像データ保存期間・30日間

Eagle Eye Cloud VMSを導入した ケンタッキーフライドチキン店舗



ケンタッキーフライドチキン(KFC)のフランチャイズ・オーナーは、米国ロードアイランド州とコネチカット州に、8店舗のレストランを展開しています。

しかし、オーナーはこれまで使用していた従来のアナログ映像監視システムでは、映像を表示するのに時間がかかり、映像を見る際もそれぞれカメラの設置場所で面倒なものだったので、モバイル・アプリを利用して、いつでもどこからでも素早く簡単に映像をダウンロードできるソリューションを探していました。

オーナーはイーグルアイのソリューションが提供するモバイル・アプリの利便性と、映像の取得時間の短かさに感動しました。

イーグルアイのソリューションは、操作上の観点でも、オペレーション・チームのパフォーマンスを飛躍的に上げることができるものです。例えば、フランチャイズ・オーナーが、イーグルアイのモバイル・アプリをチェックすることで、レストランの繁忙時間帯と、その時間帯にどの程度人員が不足しているなどの情報を即座に知ることができます。この情報を得ることにより、オーナーやトレーナーは、人件費削減に繋げることができました。加えて、付近にあるKFC加盟店の状況を確認し、そこから一時的に従業員を借りることも可能になりました。

イーグルアイのソリューションは、操作上の観点でも、オペレーション・チームのパフォーマンスを飛躍的に上げることができるものです。例えば、フランチャイズ・オーナーが、イーグルアイのモバイル・アプリをチェックすることで、レストランの繁忙時間帯と、その時間帯にどの程度人員が不足しているなどの情報を即座に知ることができます。この情報を得ることにより、オーナーやトレーナーは、人件費削減に繋げることができました。加えて、付近にあるKFC加盟店の状況を確認し、そこから一時的に従業員を借りることも可能になりました。

オーナーは、「このソリューションの導入を即決したように見えるかもしれませんが、導入を決定するまでに、私は他社のあらゆるシステムを徹底的に調査しました。その結果に基づいて導

入したEagle Eye Networksは、間違いなく最高に有意義なソリューションとなっています」と語っています。

【導入の詳細】

■導入目的

セキュリティ対応と店舗の業務効率を向上させるため

■導入製品

●Eagle Eye Bridge

Eagle Eye Bridgeは、オンサイト環境に設置して映像データをバッファする機能を持ち、映像データを送信可能な帯域を確保し、Eagle Eye Cloudにデータを転送します。カメラから送信された映像は、動体検知と暗号化処理が行われ、ローカル・ハードディスクに保存されます。そして、帯域幅、ユーザ定義、スケジュールなど様々な設定に基づいて、クラウドに送信されます。イーグルアイネットワークスは、6台から32台までカメラをサポートするBridge製品群を提供しています。

●Eagle Eye Bridge 304



コンパクトながらあらゆる機能を搭載。Bridgeほどのモデルも同等の特徴と機能を搭載し、しかも掌サイズの大きさ。オプションとしてWi-Fi、SSDストレージを備えています。

●Eagle Eye Bridge 401

ラックマウント型設計のBridgeで、400シリーズは最大30台のIPカメラをサポート。

■設置店舗数



当初3店舗に導入し、順次全店舗に導入の予定(2020年現在、既に導入完了済)

■カメラ台数

全店舗でHIKVISION社製ネットワークIPカメラ41台

■画像データ保存期間・14日間

